

ウンシュウミカン園における光反射資材の物理的防除効果

果樹試験場

【研究のねらい】

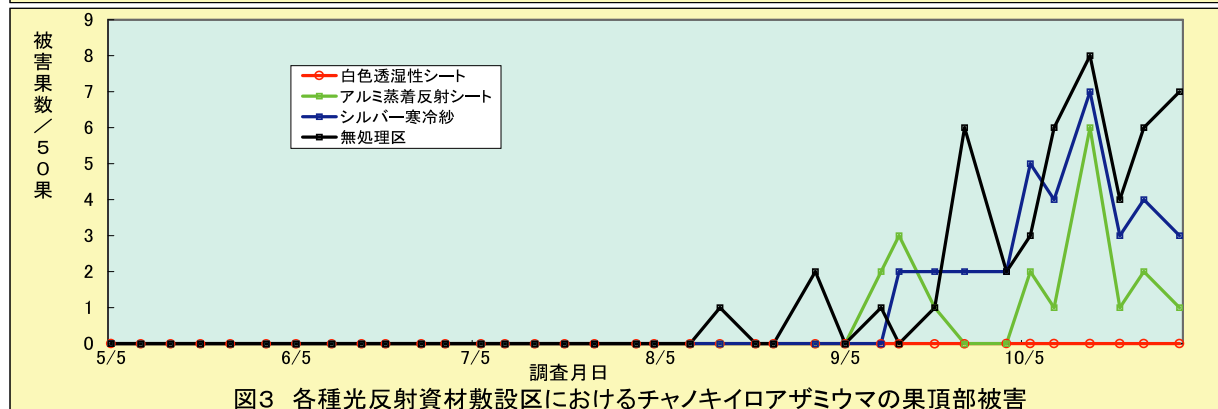
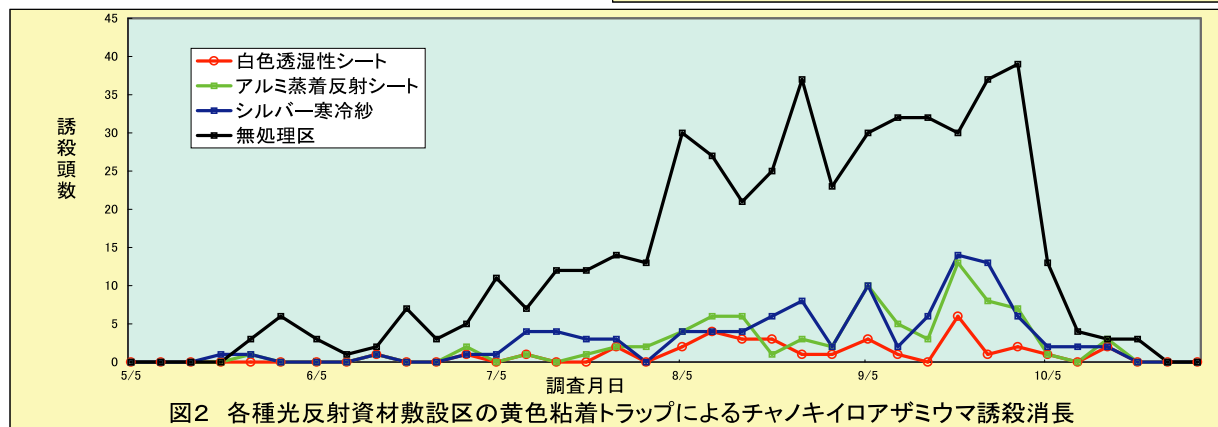
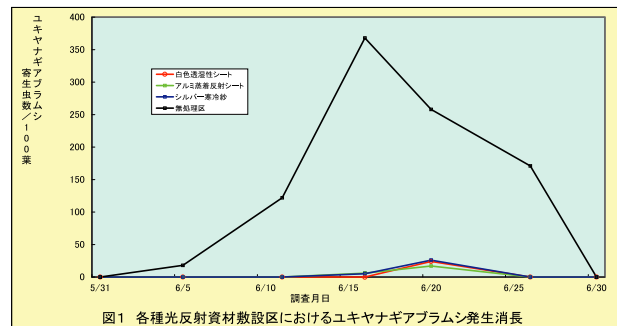
エコファーマー、特別栽培等の増加を図るために、薬剤散布を減らせる物理的防除法の導入が必要です。そこで光反射資材を用いた物理的防除効果を検討します。

【研究の成果】

- ①ユキヤナギアブラムシの飛来を各光反射資材ともに抑制し、無処理区に比べ、春梢の寄生を低く抑えます（図1）。
- ②チャノキイロアザミウマの誘殺数が増加した8・9月に各光反射資材とも誘殺数を低く抑え、飛来防止効果があります（図2）。白色透湿性シートはチャノキイロアザミウマの被害がなく、他の反射資材では飛来は抑えるものの無処理と同程度の被害があります（図3）。
- ③マルチ栽培にみられる乾燥等によるミカンハダニの多発は認められませんでした。
- ④シルバー寒冷紗は格子織りのため雑草が目間から繁茂し防除効果が低くなる。アルミ蒸着反射シートは調査やその他の管理作業の際、シートが踏まれることで劣化し、アルミが徐々にはがれ落ち防除効果が低下しました。
- ⑤以上のことにより、光反射資材による飛来害虫の物理的防除には白色透湿性シートが最も有効です。

【成果の活用面・留意点】

- ①エコファーマー、特別栽培で殺虫剤を大幅に減少させることができます。
- ②光反射資材を利用しているので、密植園では効果が低下します。
- ③アブラムシが飛来する5月上旬までにシートを敷設します。



(問い合わせ先 TEL: 0737-52-4320)